

第38回アマチュア無線フェスティバル・

ハムフェア2014 見学記

J A 4 K I 吉岡 謙

今年も、初日の8月23日(土)に見学することにして、その前日の22日に倉敷を出発し昼前に東京へ着いて、宿泊することになっているわれわれの共済事業団のホテルへ行き、レストランで昼食を摂ったり、荷物をクロックへ預けた後、徒歩で電気界で世界の秋葉原(最近では「萌え～」の秋葉原 hi)へ行き、地方では入手が困難で上京したときに秋葉原で買うものとして、手帳にメモしておいた色々な電子部品を買って、夜はそのホテルに泊った。

23日は8時少し前に、ホテルをチェックアウトして東京駅へ出た。私がハムフェアの会場である東京ビッグサイトへ行くのに、一番便利なルートとして毎年利用しているのが、都バスの「東16系統」である。東京駅では八重洲口方面へ向かったが、今年は何年か続いていた工事が終わってVYFBになっていた。東京駅八重洲南口にごく近いところへコインロッカーがあって空きがあったので、すぐ荷物を入れることができた。

東京駅八重洲南口を出たのが8時19分だった。しかしすぐ先の都バスのりばは、工事が終わった今年とは様子が違っているように見えた。都バスの案内係の男性に尋ねてバス乗り場を教えて貰い、小走りで乗り場は近づいたところへ、私が乗る予定の行先表示が「東京ビッグサイト」の8時21分発のバスが私と同時に入ってきたので、待ち時間なしに210円を料金箱へ入れて乗車した。バスはよく空いていて座ることができた。終点東京ビッグサイトの降車場には9時頃に到着した。

会場は、昨年までと同じく、東京ビッグサイト西2ホールで、バスを降りて乗って来たバスの前でバス通りを横断してまっすぐ南東へ約100mほど進み、西展示場入り口を入ったところである。

開場まで一時間近くあるのだが、入り口のゲートの前には、既に折り返し状に並べられた可動柵の中に入場する多くの人が行列を作っていた。

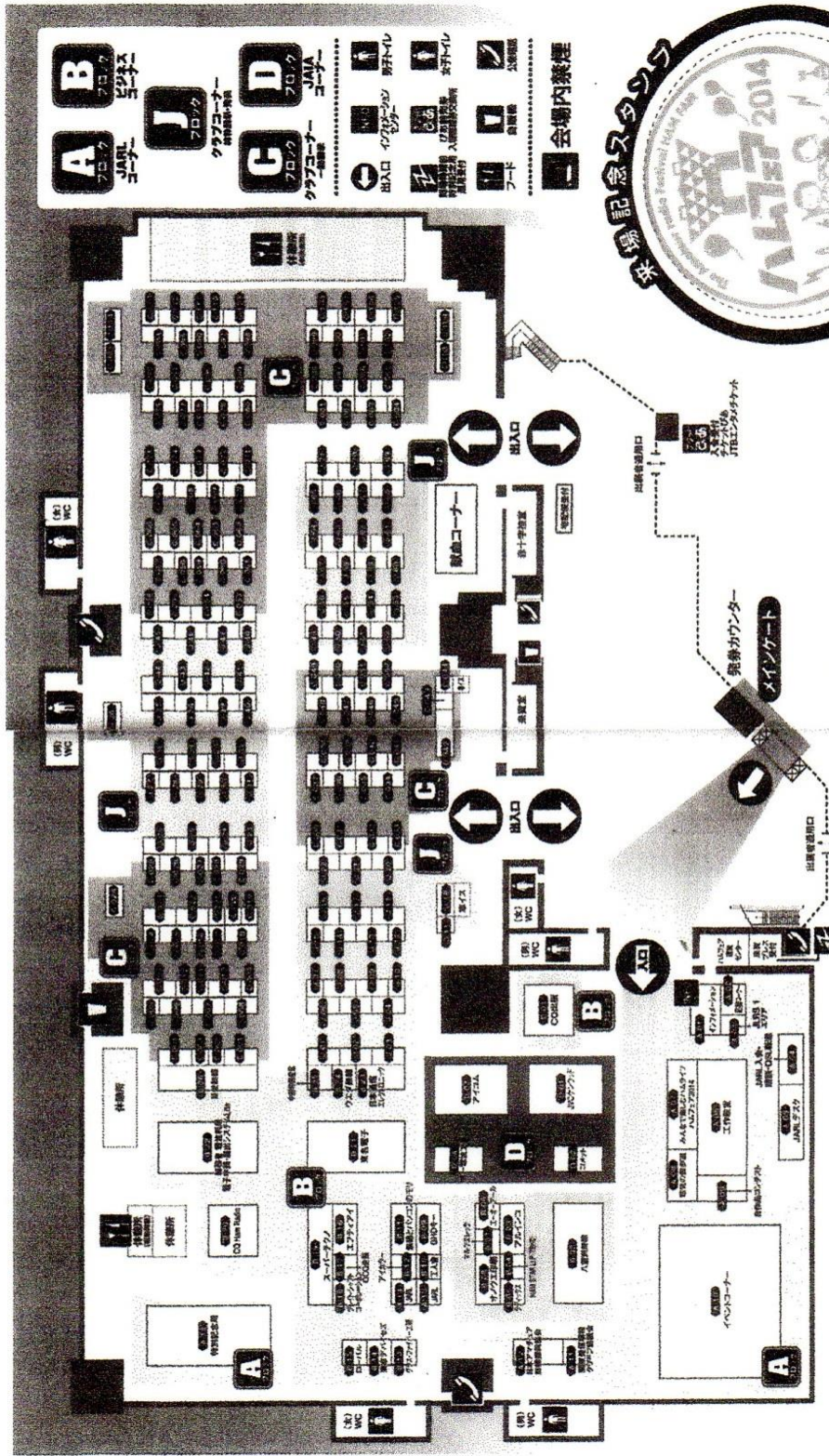
すぐ入場整理券の発券窓口へ行って、JARLライフメンバー会員証を窓口で呈示して、入場整理券を300円引きの¥1,200で入手した。昨年までは、入場整理券の割引を受けるためには、JARLニュース夏号のハムフェア紹介のところへ印刷されている割引券を切り取って持ってきたのだが、今年ライフメンバー会員証でもOKになった。入手した入場整理券の券番は、No.003807だった。入場券の上部には、コールサインと氏名を記入する欄があるが、この記入は、私が悪筆できれいに書けないので、今年もテープライターで、透明のテープにコールサインなどを打ったものを持ってきて、裏の剥離紙をはがして、入場券のコールサインなどの記入欄へ貼ることにしていて、その作業をアトリウムへ入ってすぐ右にあるベンチに腰掛けてやった。

今年、ハムフェアの会場「西2ホール」の隣「西1ホール」では、大手服飾メーカーの展示販売会のようなことが行われていて、両ホールで共通になっているアトリウムの全部をJARLが使うことができないらしく、入場待ちのための可動柵は、ハムフェアの会場へ入るゲートの近くにまで並べられていた。

10時が近くなり、メインゲートで開会式の準備が始まった。いつものように、西展示場へ入るためのアトリウムを取り巻いている二階のギャラリーから、アトリウムを俯瞰する様に写真を撮ることにしてベンチから立ち上がった。二階に出入りするためのエスカレーターへ乗って、二階のギャラリーへ上がり、メインゲートの反対側の位置から、入場券の発券カウンターの待ち行列、アトリウムに並んでいる入場者の待ち行列、ハムフェア会場の各ゲートの様子などを写真に撮った。

開会式が始まる様子が見えた。毎年ならば、開会式が行われるメインゲート近くへ移動してカメラを構えて開会式を待つのだが、今年メインゲートのすぐ近くまで設置されている可動柵に、入場を待つ多くの人々が並んでおり、メインゲートに近づくことができず、やむを得ず二階のギャラリーからズームを利用して撮ることしかできなかった。

開会式が始まったが、私が居るところは、メインゲートの反対側で、私が居るギャラリーの下には、西1ホールで行われる他のイベントの入場者の行列が



8月23日 24日
会場案内図

JALFET 2014

東京ヒップホップ文化祭 会場案内図 (A01) 印刷部

※出展団体の詳細はホームページをご覧ください。

東京ヒップホップ文化祭 会場案内図 (A01) 印刷部

あり、何となく騒がしくて、メインゲートで行われていることがよく分からなかったが、毎年の例で言えば、主催者であるJARL会長挨拶、来賓紹介、来賓挨拶、テーブルカットなどが行われた後に、オープンした。

10時ころから入場が始まったが、今年の入場者は異常に多く、会場の外のバス降車場近くまで並んでいた行列の最後が、私が立っているアトリウムの入り口を通ったところで、入場者の行列の最後について、可動柵の中を何回か行ったり来たりしてようやく入場した。

今年の入場者は、JARL Webによると、初日の23日(土)は23,000名、二日目の24日(日)は11,000名、延べ合計34,000名で、ここ十数年で最高だったように思われた。

実際11時頃には会場内がかなりのQRMになって、各ブースでは、展示等の様子が、見学者が多くてよく分からないという状態で、今年はカメラの調子が良かったので、多くの写真を撮ったが、写っているのは見学者ばかりという有様だった。二日目の入場者数は毎年少ないので、ゆっくりと見学したいのならば、二日目がおすすりである。

今年ゲートを入ったすぐのところ、ここ何年か行われていた美女によるガイドブックの配布が行われていなかったの、入場してすぐ左側にあるインフォメーションへ行って、ガイドブックをもらった。

ガイドブックによれば、ハムフェア2014は、5つのブロックに分けられている。

AブロックはJARLコーナーで、A-01からA-15まで15のコーナーがある(昨年より2少ない)。A-10のイベントコーナーでは、二日間にわたって、11時から16時頃まで、プログラムに従って、9のイベントが行われる。

Bブロックはビジネスコーナーで、B-01からB-26まで26のコーナーがある(昨年より2多い)。

Cブロックはクラブ(一般展示)コーナーで、C-001からC-114まで114のコーナーがある(昨年より3少ない)。

Jブロックはクラブ(純粋展示・発表)コーナーで、J-01からJ-71まで71のコーナーがある(昨年より1多い)。

DブロックはJ A I Aコーナーで、D-01からD-04まで、J A I Aの10社の中から4社が出展している(昨年と同じ)。

他に、フードコーナーとして、飲食物を販売する会社が2社(昨年と同じ)と、宅配便を扱ってくれる運送業者が1社(昨年と同じ)入っているはずである。

日本無線協会の、当日受付即日結果発表の第三級・第四級アマチュア無線技士臨時国家試験は、ハムフェア初日の8月23日(土)に、ハムフェア会場の近くにある東京ファッションタウンビルで開催され、三アマは受験者101名で68名が合格、四アマは受験者119名で89名が合格した。

まずBブロックのビジネスコーナーのY A E S Uのブースへ行った。ここには、J H 4 J Q Cさんの息子さんのJ E 4 H B P/J A I A G Sさんがおられ、元気なお姿を発見して挨拶を交わし、お渡しするものをQ S Pした。

次に、Aブロックだが飛び地になって、会場の東の角にある特別記念局8 J 1 Aのコーナーへ行き、アマチュア無線フェスティバル実行委員会委員で、このコーナーの担当の東京都支部長J H 1 L W P島田さんにお目にかかって、昨年この会場内で8 J 1 AとQ S OしたときのQ S Lのことでお世話になったお礼を申し上げた。

次にJブロックにあるわが母校のアマチュア無線部の明治大学高周波のブースへ行って、置いてあったノートへ記名した。ブースの中には、親子以上に歳が違う後輩のJ L 1 L N Cさんがいたので、彼にカメラを預けて、私がブースの中に入っているところを写真に撮ってもらい、ささやかな土産をQ S Pした。

総務省電波利用電子申請・届け出システム Liteのブースで、何か新しい情報でもと思い近づいたら、アンケートに答えてほしいとアンケート用紙と筆記用具を渡され、案内された記入場所でアンケートに記入した。記入が終わってアンケートの用紙を提出したら、毎年おきまりの、孫が喜んでいろんなところへ貼りそうな、A5の台紙に、私の局の免許の有効期限の年月日と、コールサインが入っているシールがついているものと、携帯電話へぶら下げるようなリン

グ状の細紐がついている電子申請のマスコット坊やをくれた。

11時半が近づいたので、レストランがQR Mになる前に食事を摂っておこうと、毎年利用している展示場のすぐ前にあるレストランへ出かけたが、メインゲート横の入場整理券の発券ブースには、まだ多くの人が可動柵の中に並んで順番待ちをして整理券を購入していた。

レストランは既にQR Mになっていて、去年はやはりここで昼食を摂ったが、昼食で一度に疲れが出た様にした記憶があるので、今年はどこか他所で摂ることにした。昨年バス降車場所からハムフェアの会場までの間の二階にあるコンビニで買い物をしたのを思い出して、レストランの手前にある階段を上ってそのコンビニへ行った。コンビニでは、サンドウィッチとパック入りのミルクコーヒを買って外へ出たが、そこには、かなりの広さのところへ高い屋根がついたフロアーに、テーブルとベンチが沢山並べてあった。小雨が降っていて、高い屋根の端からは、時々雨が飛んで落ちてくるが、ものすごく風通しが良く涼しいので、そのベンチに座ってゆっくりと昼食を摂ることができ、レストランよりは早く終わって正解だった。

展示ホールへ戻って、JARDのブースへ行ったら、今年はおなじみのかわいい布のトートバッグの配布は無かったようだった。

次に隣のビジネスコーナーやJAIAコーナーを見たが、いつものごとく、詳しく見ると悪い虫が起こりそうなので、見たのか見てないのか分からない様な見方hiをしながら、各ブースを写真に撮ったり、カタログを貰ったりした。

JARLコーナーへ行ったら、イベントコーナー側には、自作品コンテストの入賞作品が展示されていた。絵画コンクールは今年は無かった。

Aブロック中には、ドイツ(DARC)・ルクセンブルグ(RL)・チュニジア(ASTRA)・タイ(RAST)の四つの国の連盟が出展して、自国のアマチュア無線のPRを行っているブースもあった。

インフォメーションで、ガイドブックの3ページへ来場記念スタンプを押した。

見残しているCブロックとJブロックのクラブコーナーは、いつものごとくブースを一つ一つのぞき込んで歩こうとしたが、見学者が多くてのぞき込めないブースが沢山あった。ブースでは、毎年のごとく、展示されているジャンクを手にとって、いろいろなことを尋ねたり値引き交渉をしたり、ブースのメンバーが作って販売しているものを買って求めたり、ただ展示されているものを見たり、ブースのメンバーとアイボールQSOを楽しんだり、ブースが行っている抽選会に参加したり等々という具合に、入場者はそれぞれが多様な楽しみ方を満喫していたが、人気のブースでは、入場者が多いために、前の人の肩越しにのぞき込めないところがかかりあった。

その後毎年のごとく全部のブースを、ブースの番号順に、ブースが3~4宛まとまっているパネル単位で写真に撮った。昨年と違ってカメラの具合はVYFBだったが、見学者ばかり撮った感じで、ブースの様子はほとんど分からない写真になってしまった。

今年も会場内で、多くの方々とお話しすることができたが、残念なことに、今年も倉敷クラブのメンバーにはお目にかかれなかった。

帰りの時間が近くなったので、明治大学高周波のブースのJL1LNCさんと、YAESUのブースのJE4HBP/JA1AGSさんに挨拶したが、残念ながら記念局ブースのJH1LWPさんは、食事にでもお出かけになっていた様子で、お姿が見えず、挨拶できないまま会場を出てバス停へ向かった。昼食時に降っていた雨は上がっていた。

朝とは逆のルートで、東京ビッグサイト13時3分発の定期バスに乗って、東京駅八重洲口へ戻り、新幹線に乗り換え、新大阪で九州新幹線のさくらに乗り換えて、岡山へは19時11分に到着した。倉敷駅からは、駅の駐輪場へ置いた自転車で帰宅した。

来年は、8月22日(土)~23日(日)に、今年と同じく東京ビッグサイト西2展示ホールで開催される予定になっているので、来年も是非見学したいと思っている。

お知らせ

◎ アマチュア無線技士国家試験

8月期の1・2級アマ技士を受験された方の手応えはいかがだったでしょうか。吉報をお待ちしています。

これから申請や受験できるアマ技士国試のスケジュールは、下記のとおりです。

・第一級・第二級アマチュア無線技士

試験日時 一級アマ技士 12月 6日(土) 09:30~

二級アマ技士 12月 7日(日) 09:30~

試験科目および試験開始時刻 法規 09:30 無線工学 13:00

試験地 受験申請書を提出した協会所在地の総合通信局所在地で、詳しいことは、受験票で指定されます。

受験申請書の受付 10月1日(水)~20日(月)で消印有効です。

協会からは未発表ですが、毎年の予定から推察される次の試験の予定は、来年4月で、申請書の受付は来年2月の予定です。

・第三級・第四級アマチュア無線技士

近隣試験地の試験日 三・四級アマ技士共に

大阪 2014年11月 9日(日)

12月 7日(日)

2015年 1月18日(日)

広島 2014年11月 9日(日)

2015年 1月18日(日)

松山 2014年11月16日(日)

以上のほか自分の住所地に関係なく、全国どこの試験地でも受験できます。

試験科目 法規と無線工学(同時実施)

試験開始時刻 三級アマ技士 13:00

四級アマ技士 10:30 と 13:30 のうちのいずれか

各受験者の試験開始時刻は、申請後に協会から送付される受験票に記載されて通知されますので、受験票で確認してください。

申請書の受付期間 11月期のものは、すでに先月終わっています。

12月期のものは10月1日(水)~20日(月)、

来年1月期のものは11月1日(土)~20日(木)で、いずれも消印有効です。

今年度実施される、総ての級のアマチュア無線技士の国家試験の予定については、本誌の4月号の末尾に、第一級・第二級アマチュア無線技士と、第三級・第四級アマチュア無線技士の、年間の予定表を掲載してありますので、必要に応じてご覧ください。

なお、協会のテレホンサービスは、近年無くなっている協会の事務所が多いので、お気を付けください。